

落花生が茶色かったり、黒ずんでいるのですが…

「落花生の黒ずみのお話」

「落花生に何か黒いのがついて汚れているよ」
「この落花生は国産殻付落花生なんだけど殻が黒いのはなぜ？」

それは、関東平野の土壌の鉄分による影響なんです。

国産殻付落花生の特徴は、中国産に比べると殻の厚さがやや薄く、栽培中の土壌の成分(火山灰に含まれる鉄の成分)から殻は黒くなっているのが特徴です。カビや汚れがついている訳ではございません。

主産地である関東平野の土壌に鉄分が多く、これによる影響だと考えられています。

POINT 関東の土壌は落花生の栽培に最適!

日本の落花生は千葉県の生産量が全国一で、関東一円を中心に栽培されています。

これは、関東平野の土質が落花生の栽培に適しているからです。落花生は花が咲いた後に「子房柄」という実になる部分が土の中に潜っていきますので、畑の土壌が柔らかい必要があります。

豆知識

「落花生」の名前の由来はその名の通り、落花生の花が地中に落ちてそこから豆が成長する(生まれる)のでこのように呼ばれています。

ちなみに、北海道や東北、九州の一部地域では節分の豆まきに落花生を使うところもあるそうです。



2017年
1月4週
(4号)

東海コープ商品検査センターからの

おいしくつて、
安全なおはなし

